

珍客来遊～令和3年下半期にお目にかかった珍客たち～



○R3年8月11日

- ・チワラスボ属の一種
- ・推定全長25～30 cm
- ・萩漁港で遊漁者が採捕

※チワラスボ属魚類は山口県日本海では2006年8月に下関市豊北町二見漁港周辺で1個体(全長285 mm)が採捕されたのみ(標本又は写真なし)。今回得られた写真記録は山口県以北の日本海では初。



○R3年7月

- ・アカスジコブシ
- ・甲幅長12.7 mm
- ・山口県沖合の水深約130 mの海域

※山口県漁業調査船「かいせい」が資源調査(桁網)の際に採集したもの。後日、海響館職員の調査により日本初記録のカニであることがわかり、同職員により「アカスジコブシ」と命名された。



○R3年9月10日

- ・フトユビシャコモドキ
- ・体長4.3 cm
- ・仙崎湾(長門市)

※本州中部以南のサンゴ礁や岩礁に生息する。当センター研究員がナマコ調査のため設置していた採苗器で採取したもの。



○R3年9月11日

- ・ホウセキハタ
- ・全長35 cm
- ・萩市場に水揚げ(釣り)

※九州北西岸、沖縄県、インド-西太平洋等の沿岸の岩礁に生息する熱帯・亜熱帯生息種。



○R3年11月4日

- ・ギンガメアジ
- ・全長24 cm
- ・野波瀬の定置網

※九州西岸、沖縄県、インド-太平洋の内湾やサンゴ礁などの沿岸域に生息する熱帯・亜熱帯生息種。

水産研究センターでは、水産資源・漁場・海洋環境の調査をおこなっています。

珍しい魚等を見かけたら、海の変化を知るための貴重な研究材料となりますので、当センターまで情報提供をお願い致します。

※山口県水産研究センターでは、下関市立しものせき水族館(海響館)及び萩博物館と共同で、2011年に「山口県日本海産魚類目録」を作成しましたが、さらに最新情報を追加し、2020年に「証拠標本および画像に基づく山口県日本海産魚類目録」を作成しました。(海鳴りネットワークに掲載中)

(https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16402/uminari_network/gai_bu_hyouka.html)

(企画情報室)